

平成28年度 事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日
平成 28 年 4 月 15 日

事務事業名		児童館運営管理事業				事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け				新規/継続	継続	事務事業No.	020201000445
総合計画の施策名		0202 子育て支援及び少子化対策				単独/補助	単独	所属課	040201
政策名		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり				主要事業	対象外	児童福祉課	
施策名		01 子育て支援及び少子化対策				市長マニフェスト	対象外		
基本事業名		01 子育ての支援体制の充実				未来PJ事業	対象外	グループ	こども未来G
						合併建設計画事業	対象外		
		財務会計上の位置付け				事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	03	02	03	01	00	児童福祉施設事業		
法令根拠	・児童福祉法 ・桜川市児童館の設置及び管理に関する条例								
単年度繰返し (年度~) 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入									

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
・市内3ヶ所の児童館 (岩瀬中央児童館・上小幡児童館・飯塚児童館) の管理に関する事業。 【事業費の内訳】 消耗品費、光熱水費、修繕費、手数料、委託料 (清掃管理)、下水道使用料、工事請負費	・4月に施設管理委託契約手続き ・毎月、児童館の運営上必要な物品等の購入、修繕、光熱水費の支払等

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・4月に施設管理委託契約、保険加入の手続き ・毎月、児童館の運営上必要な物品等の購入、修繕、光熱水費の支払い等	児童館数	箇所	3.00	3.00	3.00	3.00	3.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
子ども及び子ども持つ家庭	地域の児童数	人	1,302.00	1,294.00	1,294.00	1,294.00	1,294.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
地域の子育て拠点として、有効な活動場所とする	利用者数	人	3,183.00	3,140.00	3,140.00	3,140.00	3,140.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量	
		(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)		
投入	事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
		一般財源	千円	597	880	848	848	848
	事業費計 (A)	千円	597	880	848	848	848	0
量	正規職員従事人数	人	0.00人	6.00人	5.00人	5.00人	5.00人	
	述べ業務時間	時間	75.00	53.55	50.00	50.00	50.00	
	人件費計 (B)	千円	218	155	145	145	145	
トータルコスト (A)+(B)		千円	815	1,035	993	993	993	

		27年度事業費 実績 (千円)		28年度事業費 予算 (千円)	
事業費の内訳	11 需用費	496		464	
	12 役務費	22		22	
	13 委託料	250		250	
	14 使用料及び賃借料	112		112	
	合計	880		848	

(4) 当該年度の実施内容

	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	児童館の運営上必要な物品等の購入、修繕等を実施する	児童館の運営上必要な物品等の購入、修繕等を実施する	児童館の運営上必要な物品等の購入、修繕等を実施する
・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業	➡		

事務事業名	児童館運営管理事業	事務事業No.	20201000445	所属課	児童福祉課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
 【飯塚児童館】 昭和40年事業開始 【上小幡児童館】 昭和45年事業開始 【岩瀬中央児童館】 平成6年事業開始

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?
 市で全て管理し、専用職員を配置して欲しい

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	児童の利用者が少なくなっており、地区の集会場としての機能の方が主となっている現状がある。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	一部のサークルを除き、利用者のほとんどが地区に住む人である
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	地域子育てサークルの活動の活性化等により、利用者の増加は見込まれる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input type="checkbox"/> 影響無	現在の利用状況では、他の施設で代替できると考えられる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合))	<input type="checkbox"/> 統廃合ができる	現在の利用状況では、他の施設で代替できると考えられる
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	建物は老朽化し、毎年何らかの修繕を行っている。職員の常駐を求められている。現在の管理方式では法律を満たしていない。児童福祉法では2名以上の児童厚生員を常駐させ管理することになっているが、費金の支払いは多額になり、財政面で難しい。
	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	児童館の近隣に住む者が利用者の多くを占めている。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	児童館として機能しているか精査する一方で、施設の管理を行うのは市が適当であるかの検討が必要。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持	○			低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持	○																						
	低下																							
県から指摘を受けている以下のことについて、改善が必要。 ・児童館の適正な運営を図るため、運営委員会を設置し、その意見を聞くこと。 ・児童厚生員を2名以上置くこと。避難及び消火に関する訓練を少なくとも毎月1回実施すること。 ・事業自体の見直しが必要であり廃止も検討すべき。 児童厚生施設(児童館)としての用途を廃止する	(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 ⑤ コスト削減優先度評価結果 ⑧																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>